

仕事と介護に関する従業員ニーズ調査（概要）

コーデンシTK株式会社

社内で介護に関するアンケート調査を行い、従業員の介護に対する意識調査を実施した。
下記に集計結果の概要を記載する。（2回実施）

対象：一般従業員全員（45名）

回収数：1回目 35名、2回目 36名

1. 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について
現在、ほとんどの従業員が、「介護に関わっていない」と回答している。
2. 今後の従業員の介護見込みについて
「介護をする可能性がかなり高い」従業員は少数、
「介護をする可能性が少しある」「介護をすることはない」と回答した従業員が半数ずつおり、大部分を占めている。
3. 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について
アンケート1回目は「制度があるかどうか知らない」「制度はない」と回答した従業員が3分の2近くを占めたが、2回目は4分の1程度にまで低下した。
4. 仕事と介護の両立に関する不安について
「介護する可能性がある」従業員に質問をしたが、全員が「不安を感じる（「少し」を含む）」と回答している。
具体的な不安としては、1回目は「公的介護保険制度の仕組みがわからないこと」「仕事を辞めずに介護と仕事を両立するための仕組みがわからないこと」を中心に、不安事項が多岐に渡っていたが、2回目は選択合計数が半数程度に減り、不安が軽減されたことがわかった。（該当するもの全て選択する回答方法の質問）
2回目で多かった項目は「自分が介護休業を取得すると収入が減ること」「介護がいつまで続くかわからず、将来の見通しを立てにくいこと」の2項目である。
5. 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について
ほとんどが「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、仕事と介護を両立する」と回答している。

以上